

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	防府市		代表者名	市長 池田 豊	
担当者部署	総合政策部		連絡先電話番号	0835-25-2412	
担当者役職	デジタル戦略係長	担当者氏名	下田 絵里	連絡先E-mail	*****
住所	747-8501 山口県防府市寿町7番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	豊富な経験・知識を持つDX先進自治体のデジタル統括課職員という立場から、我々が抱える課題や目指す目標に、大変御熱心かつ柔軟に向き合ってください、それぞれ異なるワーキンググループごとに、実体験を交えながら最適な御助言をいただいた。実際の現場で行われている施策や運営上のポイント等の具体的な情報は大変貴重であり、今まで気付かなかった新しい視点や切り口を得ることができた。既存の枠組みに囚われることなく問題解決策を考えることに繋がり、ワーキンググループ事務局としても、考え方の幅を広げていくことの重要性を再認識した。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月20日	支援・助言（オンライン）	有	令和5年5月31日	677
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月18日	支援・助言（オンライン）	14時00分	17時00分	
				活動時間（分）	180
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	防府市職員（DX推進ワーキンググループ+事務局）	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	【DX推進ワーキンググループ（若手中堅職員）】 全庁から抽出された地域課題を、事業課のDX推進リーダーとDX推進ワーキンググループの協働により解決策を定める取組みである。適切に目標設定から解決策をデザインし、ひいては適切なデジタル技術を施策に取り込むためのスキルを、より効果的に習得させることが課題である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	【DX推進ワーキンググループ向け「課題解決助言支援」】 現存する地域課題に対し適切に目標設定から解決策をデザインしていく過程において、DX先進自治体の視点から助言を得ることにより、より良い解決策の創出を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	各ワーキンググループ毎にワーク（課題解決策デザイン）の進め方に対し助言支援を受けた。40分×4グループ（1グループ5人）。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	ワークの進め方のアドバイスや、新しい視点からの解決アイデア、具体的なソリューションやツール、他市事例の紹介等の助言をいただき、より具体的で実現可能な解決策の糸口を見出すことができた。 一例） ・システム導入の前段階として事務効率の向上を目的とした過剰な決裁範囲の見直しを行う必要性 ・既に多数出ている解決策を、実現可能な時期ごとに色分けして整理を行う ・SNS及びデジタル時代における広報の手法（ターゲット別アプローチ、NUDGE等） ・地域社会のデジタル化に際して、市民に受け入れられやすい方法（スモールスタート、対象者にメリットをきちんと示す、対象者と同じ立場の人にPRをしてもらう…等） ・デジタル技術を導入する以前に、事務フローの見直し等を行い、アナログな手法で解決できないかまず検討する	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケート調査よりも対話形式で直接的なフィードバックや意見を共有することに重点をおきたかったため、アンケート調査を実施していない。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	DX推進の前提となる「問題の本質を捉え、市民目線に立った適切な課題を設定し、最適な手段により新たな事業を創出・変革できるスキル(D(デジタル)の部分よりもX(変革)を意識)」を持ったDX人材を育成することにより、自治体DXの自走化を目指す。	
<p>なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		